

三重県尾鷲市 地域おこし協力隊



【名 前】山田 由依（やまだ ゆい）

【出身地】三重県松阪市

【活動期間】令和6年6月～

【前 職】旅行カウンター

【活動ミッション】

・定住移住促進/空き家バンク

活動内容の紹介

●空き家バンク

お家を手放されたい、貸し出されたい所有者様と、
借りたい買いたい利用者様をご紹介するサービスとして
運営しています。

基本的には、登記簿の確認、現地にて写真撮影や図面の作成、
HP掲載など一連のことを担っており、利用希望様が現れた
場合には物件へのご案内や町のご紹介などもしています。
ご案内時には、特に所有者様が大切にしている思い出や当時の暮
らしをなるべくお伝えするように心がけております。

●移住体験住宅「みやか」運営

移住を検討している方が1ヶ月～3ヶ月間利用できる施設として
運用しており導入を始めてから7年が経過しました。合計で9組
16名の方が移住または2拠点居住へと繋がっております。
入居時には町内の方々へのご挨拶やまち歩きをしながら、様々
な方のご紹介をし、毎週金曜日に行われるラジオ体操を始め、
九鬼町内のコミュニティセンターでのイベントやお祭りにも積
極的に参加を促しています。ただ空き家を探すためだけではなく
地域との交流を深めて頂くことを目的としていることで、移
住が決まらなかったとしても関係人口として地域との関わりを
継続することへと繋がっております。

●移住者交流会実施

今年は「ひものde交流会」をサポートセンターにて開催。
賀田町と古江町に移住された方がご参加くださいました。
移住後に孤立せず定住へと繋がることを目的として、
これから定期的に移住者交流会を実施していきたいと思っております。

●移住フェア/相談会への出展、 自主企画の移住相談会@東京開催

毎年行われる東京や名古屋、大阪での県主催の移住フェアや相
談会に出展しています。今年度は9月にふるさと帰郷フェアへ
出展。14組の方がブースへとお越しくださり、内数組が尾鷲に
興味を示してくださいました。

また、自主企画として東京にて移住相談会を3回ほど開催。
1組の移住へと繋げることができました。
何度かお越しくださっている方との繋がりをこれからも細く長
く丁寧に続けていきたいと思っております。

協力隊に応募したきっかけ

もともと三重県が大好きで、ドライブをしながら三重県の南部、
東紀州エリアに何度か訪れていた時、九鬼町に出会い、景観に
一目惚れしたことがきっかけで九鬼だけではなく、尾鷲市や協
力隊に興味を持ちました。何度か訪れ、たくさんの方々とお会
いしていく中で、尾鷲で活動している方々がみんな生き生きと
していたこと、東京など都会から学生たちもたくさん集まって
きていて、そこに地域のお店や地元の方とのつながりもあり、
人と人が自然に繋がっていく事にとっても魅力を感じ、私も尾鷲
で協力隊として活動をしていきたいと思い応募いたしました

抱負・任期後の目標

空き家バンク業務を中心に活動している中で、
日常的に尾鷲市民の方や、移住されたい方、どちらにも出会える
特別な立場として、ただ単純に移住者を増やすことを目的とせず、
“人と人”、“まちと人”を繋げていけるよう、移住だけに限らず何
かしらの様々な関わりしろを作っていきたいと思っています。

任期後は、引き続き毎週金曜日のラジオ体操を行い、現在住んで
いる家を拠点に地域内の困り事と地域外の人の手を繋げる仕組み
を作りたいと思っています。暮らすことで地域へ還元し、役割を
作ることで居場所となることを改めて実感できたこの経験を通し
て、このまちで暮らす理由そのものを体感してもらいながら伝え
ていきたいと思っています。

連絡先

活動の様子を発信しているSNS、ブログなど

■おわせ暮らしサポートセンター

Instagram



OWASECOURASHI

Facebook

